

平成23年度 一般会計予算

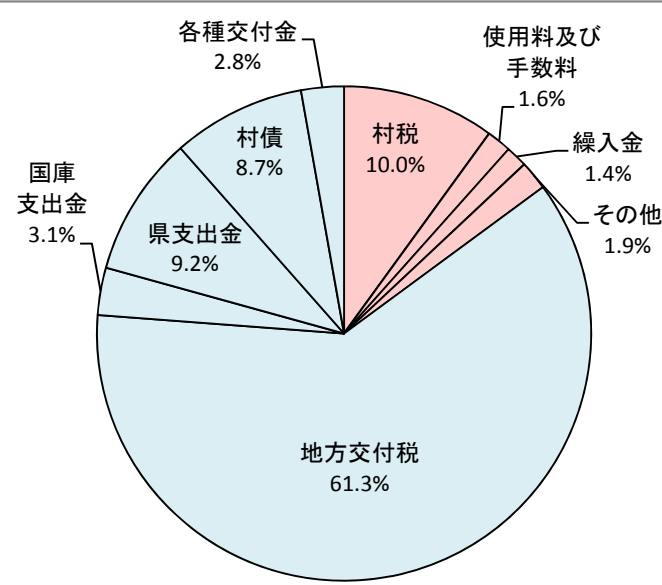
20億5,000万円 (前年度比2.0%増)

平成23年度の当初予算が3月議会定例会で可決されました。一般会計総額は20億5,000万円で、前年度比2.0%、4,000万円の増となりました。

住民1人あたり約79万円、1世帯あたり約168万円となる貴重な予算は、「自然をいかし 活気あふれる村づくり」を目指し、住民福祉の向上と生活基盤の整備に活かされます。

歳入

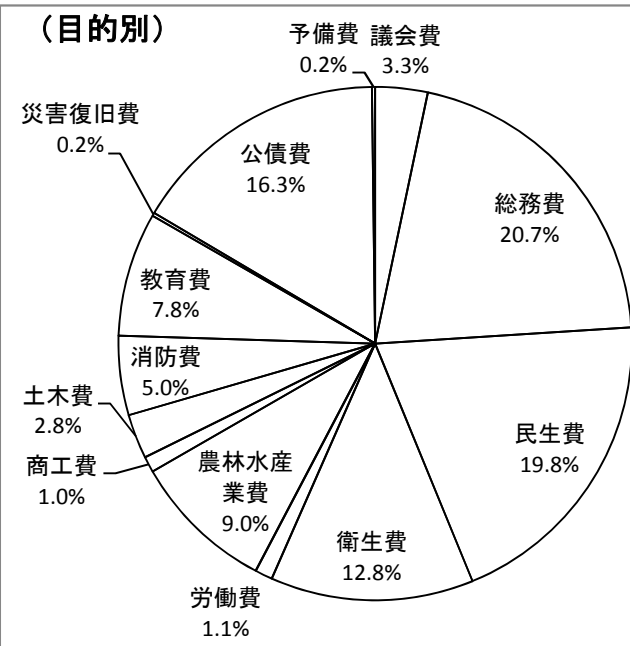
自主財源 14.9%
依存財源 85.1%



不況の影響で村税収入が落ち込み、自主財源が減少傾向にあることから、引き続き厳しい財政状況ですが、地方交付税等の増額が見込まれる為、後年度への負担を考慮し、借入金及び基金の取り崩しを最小限に抑制して編成しました。

区分	予算額(千円)	伸率(%)
村税	203,890	△ 6.1
使用料及び手数料	33,058	0.1
繰入金	29,270	91.1
地方交付税	1,257,000	3.5
国庫支出金	63,564	35.3
県支出金	189,011	△ 20.9
村債	177,600	11.1
各種交付金等	58,800	41.3
その他	37,807	△ 10.0
計	2,050,000	2.0

歳出

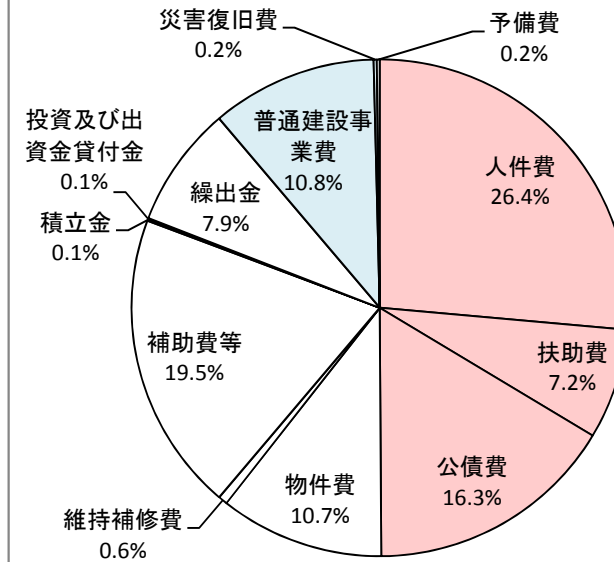


少子高齢化が進み人口が減少していく状況において、住民が求めるものは何か、住民の利便性をいかに向上させるかを考え、高齢者福祉施策等を中心に各種施策を盛り込み編成しました。

区分	予算額(千円)	伸率(%)
議会費	66,925	30.7
総務費	423,598	8.1
民生費	406,776	10.7
衛生費	262,848	20.7
労働費	23,109	△ 44.3
農林水産業費	183,883	△ 24.9
商工費	19,453	△ 6.7
土木費	58,211	42.8
消防費	102,988	6.5
教育費	159,704	△ 17.7
災害復旧費	3,400	0.0
公債費	334,105	△ 0.2
予備費	5,000	0.0
計	2,050,000	2.0

(性質別)

義務的経費 49.9%
投資的経費 11.0%



区分	予算額(千円)	伸率(%)
人件費	541,869	0.2
扶助費	147,920	25.0
公債費	334,105	△ 0.2
物件費	219,968	△ 5.2
維持補修費	11,313	△ 22.4
補助費等	400,192	7.7
積立金	1,198	△ 89.5
投資及び出資金貸付金	2,320	0.0
雑出金	160,863	3.2
普通建設事業費	221,852	0.9
災害復旧費	3,400	0.0
予備費	5,000	0.0
計	2,050,000	2.0

主要施策

1. 生活環境基盤の整備充実
2. 福祉・健康増進施策の充実
3. 高齢者交通施策の充実
4. 少子・高齢化対策、過疎対策事業の充実
5. 自然環境を活かした農林業等産業の振興
6. 商工業の振興対策・観光施策の充実
7. 義務教育・社会教育の充実、文化財の保護・整備
8. 行政改革の継続

主な事業

- ・村議会議員選挙、村農業委員会委員選挙、県知事選挙及び県議会議員選挙の執行
- ・乗合タクシー、南牧バスの運行費補助
- ・障害者に対する各種支援
- ・高齢者福祉サービスの実施（敬老会他）
- ・児童福祉各種施策（子ども手当他）
- ・各種住民検診及び予防接種の実施
- ・下仁田厚生病院運営費及び建設費負担
- ・甘楽西部環境衛生施設組合運営費負担
- ・緊急雇用創出事業（村道・農林道景観整備他）
- ・農業祭の開催
- ・中山間地域直接支払事業
- ・農業農村応援事業
- ・森林整備担い手対策事業
- ・林道開設、改良（湯ノ沢小仁田線他）
- ・林業作業道整備補助
- ・商工業関係補助及び利子補給
- ・観光施設整備（観光情報提供設備）
- ・村道改良事業（小沢日向線）
- ・富岡甘楽広域消防運営費負担
- ・消防団運営、装備充実
- ・小中学校施設整備
- ・総合運動場環境整備（トイレ改修）
- ・文化財調査

住みよい村づくり政策

高齢者の経済的負担を軽減するための対策及び公衆衛生の向上を目的とした対策を実施します。

- ・南牧バス、乗合タクシーの運賃無料(75歳以上)
- ・予防接種事業の充実

特別会計予算

会計名	予算額(千円)	伸率(%)
国民健康保険	403,300	△ 1.5
簡易水道	47,800	2.1
自然休養村	2,768	△ 20.9
生活排水	24,100	0.0
介護保険	509,000	1.2
後期高齢者医療	50,060	△ 5.2